

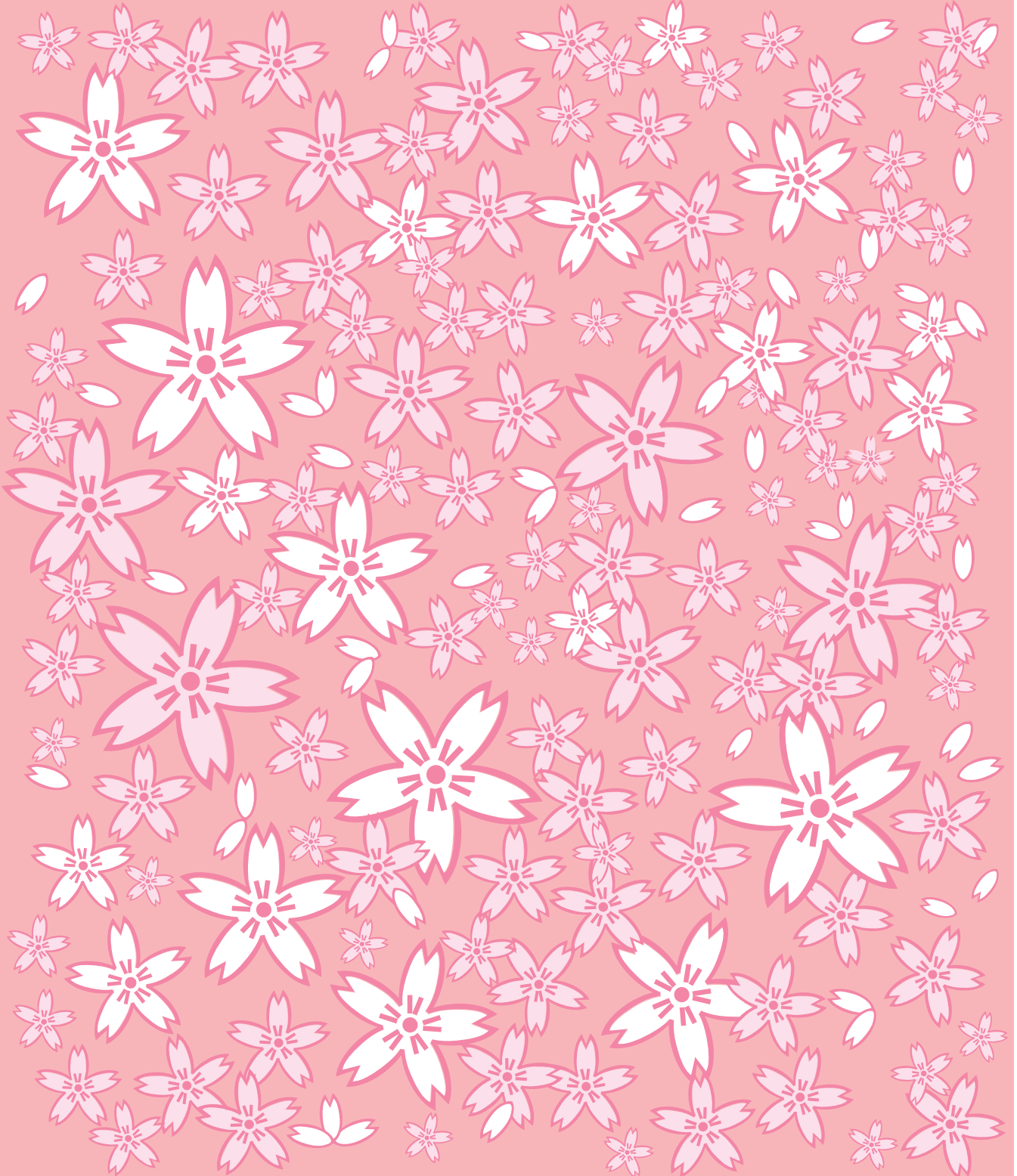
会報

春

No.177

2017.4

一般社団法人 北海道電業協会





パワースポットのご紹介

経済産業省

北海道産業保安監督部長 伊藤正義

大房会長などからの質問は無いが、東京からのお客様の中には、「部長室に神棚は無いのですか？」と質問する人がいて、ドキッとする。

『信教の自由は、何人に対してもこれを保障する。いかなる宗教団体も、国から特権を受け、又は政治上の権力を行使してはならない。何人も、宗教上の行為、祝典、儀式又は行事に参加することを強制されない。国及びその機関は、宗教教育その他いかなる宗教的活動もしてはならない。』これが日本国憲法第20条で、それを踏まえて、公共建物の建築に際し、神主を呼んで地鎮祭を行うのは憲法違反だと訴訟を起こす勢力があった。このような勢力に関わるのを避けるため、否、法令順守のために神棚が無いのか？

もっとも裁判所も地鎮祭は風俗の一部で政教分離の原則に抵触しないと判示したし、自衛隊の艦船にも神棚はあるが違法ではない。ちなみに電気部門の我が本社である経済産業省電力安全課では、雷除けの浅草寺と地元の日枝神社のお札を祭る神棚があり、毎月25日に安全祈願祭（飲み会）を開催している。

では、なぜ？

我が部の歴史はすこぶる古い。明治25年4月に北3条西7丁目で開庁し、その後3回の移転を経て、平成元年7月から現在地にある。この間、昭和17年6月に局長「久保喜六」が道内の鉱業関係者と相諮って南1条西16丁目の庁舎の前庭に『札幌鉱霊社』を建立し、道内の殉職者の霊を合祀して安全を祈願したのが我が部の“神棚”の始まりである。

戦後、昭和21年11月に日本国憲法が公布され、前述の20条の政教分離の主旨により、祭祀の運営

主体を国から鉱業関係の団体に移すとともに、昭和24年に社殿を庁舎の前庭から北海道神宮の現在地に遷座し、名称を『札幌鉱霊神社』と改名した。

祭祀の運営主体は、日本石炭協会北海道支部（平成9年3月解散）、北海道鉱業会（金属鉱山関係）、北海道石炭鉱業協会（中小炭鉱関係）後に北海道石炭同交振興会に改組（石炭部門は解散、医療部門が札幌同交會病院）の3団体。

昭和31年4月には、「札幌鉱霊神社永代奉斎会」を設立し、石灰石鉱業協会北海道事務所を含めた4団体で、毎年6月25日を例祭日と定めて祭祀を営む。このため、我が部の幹部は年次有給休暇を取って参拝しており、平成29年6月が第75回目の例大祭となる。

昨年の花見の頃に、KFCをつまみにロング缶2本で1時間程、13,435名の合祀者のいる社殿に向き合った。平成20年の1名を最後にその後合祀者はいないが、電気事故では毎年3名程度の殉職者が発生している。今は、電気が一番危ない。

何とかしなければ、と、悩みながら帰りに商店街の福引を引いた。2等が当たった。籤運の悪い私が人生初の2等である。

鉱山は、電気や機械などあらゆる工学を複合した現場であり、合祀者も多士済々。日立製作所やコマツも鉱山の修理工場からスタートしたし、JSW、STV、札幌グランドホテル等の設立には北炭が貢献した。よって、ここの神社は産業保安の確保をお願いするには無二の存在と思っている。

今年も参拝し、産業保安の確保をお願いする。ロング缶を何本にするか、悩んでいる。

【札幌鉱霊神社（北海道神宮境内）：地下鉄円山公園駅下車徒歩8分】

平成29年電気関係賀詞交歓会



平成29年1月5日(木)札幌グランドホテルにおいて、当協会と(一社)日本電気協会、北海道電気工業事業工業組合共催による恒例の「平成29年電気関係賀詞交歓会」が、3団体の会員合わせて340名が出席して開催されました。



挨拶 佐藤会長

3団体を代表して(一社)日本電気協会北海道支部の佐藤 佳孝会長から、「道民のライフラインである電力供給のため、年末年始も現場の最前線でご尽力をいただいている工事業界の皆様方に対して、心より感謝申し上げます。泊発電所については、審査の過程で『積丹半島西岸の海岸地形』と『防波堤・防潮堤』に関し、さらに詳しい説明が必要な状況となっておりますが、一日も早い再稼働を目指し、全社一丸となった取り組みを続けております」と挨拶がありました。さらに「小売全面自由化の開始以降、北海道電力では、これまで、新たな料金メニューやポイントサービスなど

を打ち出しており、例を挙げると、北国で省エネと快適さを同時に実現できるスマート電化をご提案するなど、安心・安全な電気の利用拡大を図っています。今後も引き続き、お客さまのニーズなども伺いながら、料金メニューやサービスの拡充に努めてまいります」と続けられました。

最後に「電気関係事業者、関係団体の皆様にとって、新しい時代を迎えましても、安心・安全な電気の供給は変わることのない使命であり、将来にわたる施工力の確保と災害時の早期復旧体制を維持することが必要です」と協力を求められました。

この後、北海道電気工業事業工業組合の尾池一仁理事長の乾杯で交歓会が始まり、テーブルのあちこちで名刺交換や歓談する姿がみられ、和やかな雰囲気での時間の経つのも忘れ懇親を深めました。最後に当協会の大房 孝宏会長の一本締めでお開きとなりました。



乾杯 尾池理事長



お開き 大房会長

技術講習会「防災設備の設計・施工の実務について」



平成29年2月3日(金)北海道電気会館502会議室において「防災設備の設計・施工の実務について」の講習会を開催し、35名の方が受講者しました。

開催にあたり主催者を代表して、当協会の内山技術安全副委員長(株北弘電社)から「技術力の向上、安全作業の継続など我々ができることを確実に実行して、お客さまの安心・安全に答えていかななくてはならない」と一人ひとりの資質や技能の向上を求めました。

講師には、北海電気工事(株)電設工事部課長の浅田昇志氏が(一社)日本電設工業協会本部から派遣された。

講習会では、(一社)日本電設工業協会で作成されたパワーポイント資料で、防災設備の概要、各種防災設備、電源、切替回路、配線など必須事項について解説いたしました。

受講者は、スクリーンと資料を交互に見ながら熱心に講師の話に耳を傾けて重要なポイントを学んでいました。



(挨拶) 内山副委員長



浅田講師

電設業関連四団体懇談会



平成29年2月14日(火)北2条クラブにおいて、当協会、(一社)日本配電制御システム工業会北海道支部、北海道電気資材卸業協同組合、電気資材メーカー(パナソニック、東芝、三菱電機)4団体による懇談会を開催し17名が出席いたしました。

はじめに、当協会の大房孝宏会長から道内景気にふれた後、「長年の建設投資の減少と激しい受注競争の中で就労環境が悪化し、人材不足が顕在化しています。首都圏でのオリンピックに係る建設需要が最盛期に向かう中で、一層の人材不足や資材価格の上昇等、今後の受注・工事計画に与える影響が懸念されております。

電設工事業界においても、社員の高齢化、若年入職者の減少によって、技術・技能をいかに継承していくかが課題となっており、業界の魅力を高める取り組みが必要であると考えています」と協力を求め挨拶いたしました。

続いて日本配電制御システム工業会の中山尚之北海道支部長、北海道電気資材卸業協同組合三神司理事長よりそれぞれ業界の現状報告を兼ねたご挨拶がありました。

引き続き懇談会の中では、パナソニック(株)エコソリューションズ社北海道営業部の高橋章部長、東芝ライテック(株)北海道営業部の高松裕之部長、三菱電機住環境システムズ(株)北海道支社開発営業部の三浦潔部長から、LED市場動向等の現状と今後の見通し・対策等それぞれの立場から報告がありました。

最後に、当協会の宇野専務理事から、平成28年度事業として、人材確保と育成事業や分離発注の推進活動等の重点活動を紹介いたしました。また、(一社)日本電設工業協会が実施した「学生の就労意識に関するアンケート調査結果の概要」について説明した後、意見交換となりました。

会議終了後の懇親会では、情報交換の場となり終始和やかな雰囲気の中で終了いたしました。



中山支部長



三神理事長

【お知らせ】

(一社)北海道電業協会 第51回定時総会ならびに

(一社)日本電設工業協会北海道支部 第61回定時総会

■日 時：平成29年5月16日(火) 15時30分より

■場 所：札幌グランドホテル グランドホール (別館2F)

札幌市都市局との意見交換会



平成29年3月8日(水)北海道設備会館において、電気・空衛連絡協議会〔当協会と(一社)北海道空調衛生工事業協会で構成〕と札幌市都市局幹部の方々にご出席をいただき、意見交換会を開催いたしました。

両協会から会長、副会長、理事ら合わせて23名が参加し、札幌市都市局建築部からは佐藤 之則設備担当部長、中村 範仁電気設備課長、中村新一郎機械設備課長が出席されました。

はじめに(一社)北海道空調衛生工事業協会池田薫会長から「業界を取り巻く状況として、少子高齢化や技術者・技能者不足が進んでいます。また建設投資の動向も不透明なことから経営の先行きは厳しい状況にあります。これらの課題を少しでも解決できるようご協力をお願いしたい」と挨拶されました。

続いて札幌市都市局の佐藤設備担当部長から「都市局が所管する平成29年度予算案の学校や市営住宅等の建設事業費は今年度以上の規模を予定しており、今後も一定規模の金額で推移していくものと考えています。

また札幌市も業界の皆さま方の経営安定化や人材育成に向けて取り組んで行きたい。そのために日常的な情報交換が必要であると考えております」と挨拶されました。

引き続き議事に入り、札幌市幹部の方から事業動向と今後の見通し、入札契約等の動向について説明がありました。

両協会からは①「分離発注の継続」②「安定的な工事量の確保」について要望させていただきました。

札幌市都市局から①について「効率的な執行、競争性を阻害しない範囲で地元企業の受注機会の確保に配慮しており、特に電気・機械設備は専門的な知識が必要とされることから分離発注を継続します」②について「市有施設の長寿命化を目的とした保全推進事業を平成20年度から実施し、年々事業量を拡大、今後も冬季オリンピックや政令都市移行契機に整備した施設の長寿命化や建替を計画しており、事業量は継続していくものと考えています」と回答いただきました。

最後に当協会の大房 孝宏会長から「設備協会は離職率の高さ等人材確保が厳しい状況が続いています。本日、話題のあった働き方改革は生産性および技術力の向上を通じて前向きに取り組んでいきたいが、その実現には発注者のご支援がなければ成り立ちません。今後も設備業界の実情を説明しながらお互いに有意義な意見交換をお願いしたい」と協力を求めました。



緑のふるさと 愛林のまち ～津別町～

津別町長 佐藤 多一



■ まちの概要

津別町は、北海道オホーツク管内の最南端、阿寒湖の北側に位置する人口5千人ほどの豊かな水と森林を有するまちです。

町の面積の86%を森林が占めており、昭和57年には全国で初めて「愛林のまち」を宣言し、森林の持つ公益的役割に感謝の念を表明しています。その豊富な森林資源は木材加工業を育み、様々な木製品や合板が製造され全国各地に送り出されており、また最近では、ふるさと納税のお礼品のテーブルやイスに対し、その洗練されたデザインと高い技術力を買われて首都圏からの申込みが増え、好評を得ています。

基幹産業である農業については、耕地面積5,700haに小麦、てん菜、馬鈴しょ、豆類、玉ねぎ等の畑作と酪農・畜産経営が混在する地帯で、それぞれが特色ある農業を営んでいます。特に玉ねぎ等の野菜では減農薬・減化学肥料栽培による「特別栽培」に取り組み、酪農では日本初となる有機畜産物JAS規格認証を取得した「オーガニック牛乳」を生産する



など、消費者に安全・安心な農産物を提供し、消費者ニーズを積極的に捉えた農業を展開しています。

■ まちづくり

平成27年10月に「津別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、現在取り組みを開始しています。総合戦略の特徴は、昭和58年から交流が続く千葉県船橋市との事業に重点をおいているところで、62万人都市である船橋市内の様々なネットワークを活かし、農業青年の相互交流と特産品の販路拡大や婚活事業、障がい者支援事業所の充実・新設や移住促進事業等を進めています。

また、もう一つの特徴として、19年間ラグビー合宿でつながりのある筑波大学の協力を得て、コンパクトシティづくりと人材育成を目的としたまちなか再生事業を開始しています。夏には学生や大学教授が津別町に長期滞在し、様々な調査活動を行うとともに、津別高校生を対象に高大連携ワークショップを実施し、その成果を「筑波大学学園祭高大連携シンポジウム」において高校生自らが発表し、好評を博しています。

■ 津別町イメージキャラクター まる太くん

平成25年に誕生した“まる太くん”。キャラクターのデザインは、津別を象徴する「ミズナラ」「丸太」「ヒグマ」、そして夏に盛んなスポーツ合宿から津別らしい緑色のラインが入った「ラガーシャツ」などがモチーフとなっています。町内外のイベントに登場し津別町をPRしたり、子どもたちや高齢者と一緒に体操を踊ったりと広く親しまれています。



■観光スポット

・津別峠の雲海



標高947mの津別峠は、屈斜路湖を囲むように広がる屈斜路カルデラの外輪山にある峠の中で、もっとも高い地点にあります。地形や気候の特徴から雲の発生率が高く、雲海との遭遇率が約6割に達することもあります。

・相生物産館（クマヤキ）

釧路～網走間を結ぶ国道240号線沿いに位置する道の駅で、旧北見相生駅舎に隣接しており、旧駅舎や鉄道車両の保存・展示も行っています。

最近じわじわと人気を集めている、たい焼き風スイーツ「クマヤキ」。道産の小麦や小豆を使った「ヒグマ」と生クリームが入っている「生クマ」、他にも皮にタピオカ粉を使った「シロクマ」などが販売されています。



・ランプの宿 森つべつ

森林セラピー基地の中心にひっそりと建つホテルです。ロビーはランプの柔らかな灯りに包まれ、窓から見える深い森には、テンヤキツネなどの野生動物が顔を出すことも。木の香りと静寂に



包まれたお部屋では、ゆったりと流れる森の時間を感じ、厳選された旬の食材で体の中からも森の癒しを感じることができます。

・チミケップ湖



エゾマツとトドマツを中心とした原始林に囲まれ、太古のままの姿で水をたたえる湖です。10月中旬からの紅葉は格別な美しさで、遊歩道が整備されバードウォッチングや森林浴を楽しめます。また、湖畔の森林に溶け込むように建てられたチミケップホテルは、静寂に包まれた隠れ家的なオーベルジュとして人気です。

・森林セラピー

町民の森自然公園（愛称：ノンノの森）には現在道内で唯一稼動している森林セラピー基地があり、森林の持つ力と癒しの効果を心と体の健康に生かす森林セラピーが体験できます。





カルデラの里 ～赤井川村～

赤井川村長 赤 松 宏



冷水峠からの雲海

■むらの概要

赤井川村は、人口1,100人ほどの、道内で4番目に人口が少ない小さな村ですが、開村以来116年、昭和の大合併や平成の大合併を乗り越えて、自律の道を歩んできました。

北海道の南西部に位置し、四方を山に囲まれたカルデラ状の地形をなし、この連山を境に札幌市、小樽市、余市町、仁木町、倶知安町及び京極町の2市4町と隣接しています。

高台盆地特有の気候で、夏には最高気温が30℃を超え、降水量は夏場に極端に少なくなる傾向にあり、昼夜の気温差も大きいことから、果菜類の栽培に適しています。冬は最低気温がマイナス20℃以下まで低下し、市街地でも最大170cmの積雪となる道内有数の豪雪地帯です。

■むらの産業

赤井川村の主産業は、農業と観光です。農産物の品目は多岐にわたり、北海道で栽培できる農産物は何でも出来るといわれています。作付面積が多いものは、米、ジャガイモ、カボチャ、スイートコーンなどで、さらにここ数年では、花きやブロッコリーの生産も始まりました。

観光では、平成3年（1992年）にスキー場を中心とした「キロロリゾート」がオープンし、冬期間のウィンタースポーツだけでなく、トレッキングやファンカヤックなど夏期アウトドアレジャーを楽しむ観光客も増えています。また、平成20年（1998年）の国道393号（メープル街道393）の開通により、ニセコ・倶知安エリアとの広域観光も期待されています。

■むらのイベント

カルデラの味覚（あじ）まつり

毎年8月第1土日に開催される赤井川村最大のイベントです。この日にしか味わうことのできない屋台が立ち並ぶほか、赤井川村のおいしいスイカ、メロン、スイートコーンの食べ放題やゲーム大会などが行われ一緒になって盛り上がります。



メープル街道393もみじ祭

小樽市から赤井川村を通過し、倶知安町を結ぶ



国道393号線の最も美しく彩られる季節が秋ということから「メープル街道」と名付けました。この街道が最も美しい10月上旬に「道の駅あかいがわ」で開催され、旬のご当地グルメを楽しむことができます。

■道の駅あかいがわ



道の駅あかいがわは札幌圏とニセコ、道南エリアを結ぶ国道393号（メープル街道393）の中間に位置しています。

当施設は平成27年（2015年）3月27日に「村の駅あかいがわ」としてオープンし、同年4月15日に「道の駅あかいがわ」となりました。

周辺の田園風景に溶け込む山小屋風の建物となっており、「道の駅あかいがわ」を拠点に村内外の人が集い、新しい地域間交流が生み出される場として、また、村の地域資源がつながり、新しい価値が生み出される場として、村の暮らしと地域経済がつながる場となっています。

・道の駅内のショップ

道の駅では、村の観光情報や休憩の場を提供するほか、赤井川村で初めてのベーカリーショップ

がオープンし、ソーセージやベーコンを使用した季節限定の商品など村の食材を使用したパンを提供しています。他にも、村の牧場で作られた牛乳を使用したプレミアムバニラアイスや赤井川産のお米や食材を使用したオリジナルジェラート、テイクアウトコーナーでの軽食の提供、村民が手がけた地場産品が販売されています。

・農産物直売所

農産物直売所では、春のアスパラ、山菜に始まり、トマト、とうもろこしと続き、秋のお米とじゃがいもなど、全国的にも珍しいカルデラ盆地という独特の地形から育まれる野菜や余市川の清流で育つお米など、村内農家の皆さんがまごころ込めて育てた旬の農産物を5月から10月まで販売しています。直売所が閉店となる冬期間（11月から4月）は道の駅内で販売しています。

■赤井川カルデラ温泉（保養センター）

当施設は、昭和58年（1983年）に赤井川温泉公衆浴場として開業した、源泉かけ流しの温泉が楽しめる日帰り温泉施設です。泉質はナトリウム・カルシウム－塩化物・硫酸塩泉（アルカリ性低張性高温泉）で筋肉痛、関節痛、疲労回復、きりきず、やけど、慢性皮膚病等に効果があり、肌がつるつるになる「美肌の湯」として地元の人々に利用されています。また、食事処では、赤井川産の豚を使った豚丼やロースカツ定食が人気です。この他、地元の牧場のソフトクリームも販売しています。



HP：<http://www.akaigawa.com/>

～シリーズ～ 「私のいちおし」

株式会社きんでん 北海道支社
執行役員支社長 佐藤 友昭



今回は、すすきので創業54年の「浪花亭」が、一昨年7月に宮の森に開店した焼き肉店『黒牛むらい』をご紹介します。

地下鉄円山公園駅からバスで15分と、決して便利とは言えない立地ですが、札幌市街を望むジャンプ台の麓で、むしろ最高のロケーションと言ってよいでしょう。

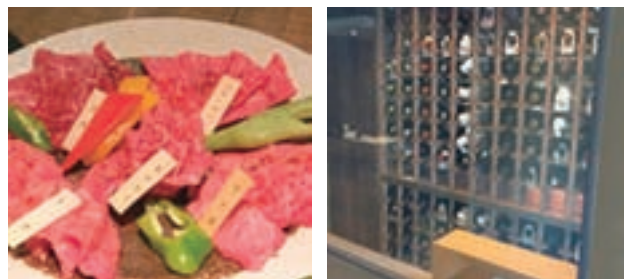
瀟洒な店構えとシックな内観は、一見すると超高級店の装いですが、季節によって異なる各種コースを選ぶこともでき、お財布事情に合わせたセレクトができますので安心です。



この店の最大の特徴は、A5ランクの和牛を味の濃いタレではなく、牛蒡など5種類の野菜が入った「五福だし」という名のお出汁で食べる独

特のスタイル。他では見たことのない食べ方に、和食料亭ならではの心意気を感じます。食べるごとにお出汁に肉汁の旨味が加わり、最後にこんがり焼いたおにぎりをそのお出汁に浸して締めるのが黒牛むらい流、これが最高に美味しい！

もうひとつ特筆すべき点は豊富なワインリストです。五大シャトーワインから、昨今話題の北海道産ワインまで、質の高いワインを提供してくれます。



女将の村井 悦子さんの気立ての良い接客も、このお店の特長のひとつ。とにかく良く気付き、よく働く姿は、見ていて実に清々しい。

食材一流、料理二流、サービス三流と揶揄されて久しい北海道の外食事情ですが、このお店は食材、料理、サービス、どれをとっても自信を持って私が街の名店と自慢できるお店なのです。

予約でいっぱいのご予約も多々ありますので、女将の村井 悦子さんに一本お電話してから行かれることをお勧めします。



- 【店名】 黒牛むらい
- 【住所】 札幌市中央区宮の森2条16丁目12-3
(大倉山競技場入口 バス停)
- 【電話】 011-612-9629
- 【営業時間】 11:30～15:00、17:00～22:00
- 【定休日】 なし

平成28年度

「建設産業ふれあい展」

みて☆つくって☆体験して！

(開催会場)
札幌駅前地下歩行空間
(大通から北3条まで)

(開催時間)
14日(土) 10時～16時
15日(日) 10時～16時

来場者数

	体験者数	入場者数
14日(土)	29組	131人
15日(日)	52組	114人



平成29年1月14日、15日の両日建設業の重要性、幅広い職種とそれぞれの魅力を知ってもらう「建設産業ふれあい展」が札幌駅前地下歩行空間で開催されました。

今年で2回目となるタイトルは「みて☆つくって☆体験して!」。主催は北海道と札幌市で、(一社)北海道建設業協会が協賛し、当協会も含めて建設業、専門工事業から15団体が出展いたしました。

当協会は小学生などを対象として「身近な材料で電池作り」として、レモンを材料にした「くだもの電池」作り、フィラメント材に身近なペンスルの芯を利用した「エジソン電球」作り、延長コード作りが体験できるブースを設置し、昨年を上回る来場者となりました。

親子で参加いただいたお母さんから、くだもの電池で電子ブザーが鳴ったことに、驚きの声が出るなど子供も大人も笑顔で体験していただきました。

またブース内では事前の実験した様子のDVDの放映や電気設備の種類や仕事分かるパネルを展示して当業会のPRも行いました。

主催者発表として、来場者は2日間で延べ13,000人と昨年の数を上回り、多くの方から「楽しかった」「勉強になった」などのご意見が寄せられたとのことでした。



安全衛生パトロール実施報告



札幌市立中央中学校完成予想図

平成29年3月13日(月)技術安全委員会委員9名による安全衛生パトロールを実施いたしました。

今回の現場は、札幌市中央区北4条東3丁目で改築工事中の札幌市立中央中学校です。

拓北電業(株)の現場事務所にて、現場代理人の高杉 勇人氏より、パトロールの注意点等「点検前ミーティング」本日の工事概要の説明を受けた後、早速、技術安全委員による安全に関する書類を点検し、工事現場に向かいました。



工事内容は校舎、屋内運動場、格技場（RC造5階、一部SRC造、建築面積3,626.39㎡ 延床面積9,352.23㎡）改築に伴う強電設備工事です。

平成28年8月に着工し平成29年7月完成予定です。当日は1階の2重天井内配管工事などが行われていました。

パトロールは1階・2階フロア内と作業員詰所の一般事項、墜落防止、感電防止、衛生環境、防火管理など点検して終了いたしました。

終了後、当協会会議室において、安全パトロール点検表のチェック項目を整理し個別に各委員から点検結果が発表され、概ね良好であることを確認いたしました。

最後に佐藤委員長（株式会社きんでん）から「電気設備の安全管理や対策は、おおむね良い状態です。これからかなり多くの作業員が入ると思われるので、安全第一で施工管理を行って下さい」と総評がありました。



現場からこんにちは



工事名称：南部高等支援学校 新築強電設備工事
工事場所：札幌市南区真駒内上町4丁目7他
工期：平成28年3月22日～平成29年2月24日
工事概要：RC造3階建、一部SRC造2階建、延べ面積約9,180㎡の校舎棟及び屋内運動場の新築に伴う、受変電、幹線、動力、電灯、暖房、屋外照明、太陽光発電、自家発電設備工事

発注者：札幌市

請負者：橋本電気工事株式会社

南部高等支援学校は、自立通学が可能な知的障がいのある生徒を対象とした、特別支援学校の高等部のみを設置した学校です。近年高等支援学校に進学を希望する生徒が増える中、札幌市にある同様の学校は市北西部にあり、札幌市南部の生徒が遠距離通学の負担を強いられることから、今回整備することになりました。建設地は旧真駒内小学校跡地、約26,000㎡のうち、19,000㎡を活用しており、地下鉄真駒内駅から徒歩10分程度の距離に位置しています。校舎は敷地東側と南側にL字型で配置し、北東側に設置する屋内運動場とつながっています。

敷地西側にはビニールハウスや畑を配置し、農作業の実習を行う予定です。

また、活動の中心の場である普通教室を日照条件のよい南側に各階配置し、北側に職員室、図書室、理科室などを設置。作業棟には、園芸作業や、電子機器解体、服飾、印刷などの実習室やガラス張りのアトリエなどを、来校者に生徒の実習風景をみてもらうよう設置しています。カフェは地域住民への飲食物の提供や、焼きたてパンの販売や生徒作品の展示、販売を行い製パン作業、調

理作業風景が見学できるように客席から各諸室に窓を設けていて、販売、接客を学びながら地域交流を図れるよう設計されています。

管理諸室は1階に集中配置され、特に職員室は昇降口とグラウンドの両方が見渡せる中間位置に設置され、防犯性、安全性も考慮されています。

取材は1月に行い、現場の進捗率は70%程度。現在は幹線設備の盤取付結線作業中、動力設備は機器廻りの配線結線作業中、電灯設備は照明器具配線器具等の取付作業中、暖房設備は制御盤、暖房機の取付・調整作業を行っています。屋外照明設備は器具等の取付・調整作業を行っています。太陽光発電設備は屋上に太陽光パネル設置、結線作業を行う予定です。

作業現場は、冬期間の厳しい環境の中、各種作業が輻輳しながら急ピッチで行われ、工程管理に非常に苦慮されていました。しかし、春には生徒たちを無事に迎え入れることができるよう、工事関係者全員が現場内での安全作業はもとより、生徒や近隣住人へ配慮、対策をしながら工事を進め、無事しゅん功できるよう団結し努力していました。

取材した私たちも、無事に安全で施設がしゅん功することを祈願し、この新しい校舎が専門的な職業訓練の場にするとともに、生徒の自立を促進し、作業風景を見てもらうアトリエや、焼きたてのパンを提供するカフェ等を通して、地域住民との交流を図る場を創設し、閑静な雰囲気のある町並みにとけ込むすてきな学校になる光景が待ち遠しく思います。

取材 広報委員 富樫亮太、松岡孝夫



現場代理人 藤森 宣宏さん

分離発注促進活動訪問記



(左) 高井会長と (右) 青山 剛室蘭市長

平成28年11月24日(木)分離発注について、室蘭電業協会 高井会長・亀田副会長と事務局の三人で、室蘭市長、副市長、建設部長にお礼と今後の分離分割発注維持について、要望書を提出し、当協会の危惧するところと問題点などについて説明しお願いしてまいりました。その中の年度別建設計画で、室蘭市の公共施設は建築から40年が過ぎしており、大型公共施設の建替え等が示されております。その工事主体はPFI方式の公募で、併せてDBO事業方式の導入を検討しており、高井会長等はPFI方式の導入の公募方法でも一括発注ではなく分割方式も視野に入れて考えてほしい旨を申し入れました。しかしながら、PFI事業者はDBO統括マネジメント能力の質の向上と施設運営方法、それに伴う事業経費削減が求められる中で、電業協会としても工事に携われれば良いと思うのではなく、DBOの中に参入し新規工事提案、施工後のメンテナンス維持管理費等の抑制など、取り組みを考えなければならないと申し上げたところ、市長サイドからは「この方式について、都市圏等に於いては、PFI、DBOの事業形態が進んで

いるので、お互いに調査研究し良い方法を考えましょう」との説明を頂きました。

室蘭電業協会として、分離発注の継続と、PFI方式での分離発注する事による問題点の検討と実行するための方策を検討したい旨、申し上げております。

伊達市に於いては、伊達電設協会の望月理事が平成29年1月6日(金)新年の挨拶にて建設部長に、分離発注の主旨説明とお願いをし要望書の提出を致しました。また、登別市の吉野理事は平成29年1月10日(火)登別電業協会と市長、副市長に、新年の懇談会の中で、分離発注の要望をお願いしております。三市とも好意的な返答を頂いております。

最後に大変にお忙しい中、各市長、副市長、各部長の皆様にかかれましては特段のご配慮を頂き厚くお礼申し上げます。

(室蘭電業協会 高井 智志)

お 知 ら せ

平成29年度「登録電気工事基幹技能者認定講習会」

【申込受付期間】

平成29年 8 月 1 日(火)～ 8 月31日(木)まで

【開催日】

平成29年10月28日(土)～29日(日) 2日間

【開催場所】

北海道電気会館

(札幌市中央区大通東3丁目2番地)

【受講資格者】

(1) 認定講習を受講できる者は、次の条件を全て満たす者とする。

- ① 電気工事の直接施工業務に従事して、該当する建設業の種類につき10年以上の実務経験があること。
- ② 労働安全衛生法第60条による建設業としての職長教育（施行令第19条、施行規則第40条）を修了して、受講申込日までに3年以上の職長経験を有している者。
- ③ 第一種電気工事士免状を取得していること。

(2) 条件を満たす証明書類は次の書類を添付する。

- ① 実務経験については、事業主が証明した実務経験証明書。受講者が事業主の場合は、記載事実に相違がない旨の誓約書（署名、捺印）が必要。
- ② 職長経験については、同実務経験証明書と労働安全衛生法第60条による職長教育（施行令第19条・業種、施行規則第40条・事項及び講習時間）終了証の写し。
- ③ 第一種電気工事士免状の写し

【受講料】

18,500円（受講料には、受講費、教材費、修了証発行費用が含まれます。）

9,250円

- ・平成27・28年度の認定講習会を受講し、試験で不合格となった者で試験のみ受験する者。
- ・平成28年度の修了証有効期限を6カ月以上経過し、1年未満の者。

【申込方法】

所定の申込用紙により（一社）日本電設工業協会北海道支部（北海道電業協会）に提出。

申込用紙は、（一社）日本電設工業協会のホームページからダウンロード願います。

平成29年度「電気工事施工管理技術検定試験」受験講習会

○ 1 級学科

【申込期限】

開催初日の8日前まで（4月16日）

【開催日】

平成29年4月24日(月)～25日(火) 2日間（開催地：札幌）

【申込方法】

◆一般財団法人 地域開発研究所ホームページから (<http://www.ias.or.jp>)

・方法1～直接申し込みができます。

・方法2～FAX申込用紙をプリントアウトして申し込みができます。

◆講習会案内が同封の郵便局専用「払込取扱票」

・方法3～講習会案内書に同封の郵便払込書用紙で、最寄りの郵便局から申し込みができます。

【開催場所】

一般財団法人 北海道開発協会 会議室

（札幌市北区北11条西2丁目セントラル札幌北ビル 電話011-709-5211）

【学科試験日】

平成29年6月11日(日) 合格発表 平成29年7月21日(金)

○ 1 級実地

【申込期限】

Aコース（1日＋施工経験記述添削指導）平成29年7月31日(月)

Bコース（1日） 開催日の8日前まで（8月29日）

【開催日】

平成29年9月6日(水) 1日間

【申込方法】 1級学科に同じ

【開催場所】

一般財団法人 北海道開発協会 会議室

（札幌市北区北11条西2丁目セントラル札幌北ビル 電話011-709-5211）

【実地試験日】

平成29年10月15日(日) 合格発表 平成30年2月2日(金)

理事会・委員会報告

|| 理 事 会

◇平成29年1月24日(火) 12:00~13:30

第6回議題

【協議事項】

1. 会費規程第2条に基づく等級格付けの見直し及び平成29年度の会費収入額の算定について
2. 役員改選に係る候補者選任について(中間報告)
3. 平成28年度 電設業関連4団体懇談会の開催について

以上提案どおり承認された。

【報告事項】

1. 登録電気工事基幹技能者認定専門委員会の概要報告について
 2. 建設産業ふれあい展の参加について(結果報告)
 3. 平成28年度 北海道赤レンガ建築賞の決定について
 4. 平成28年度 技術講習会の開催について
 5. 安全パトロールの実施について
 6. 企業会員の代表者変更について
 7. 平成29年1月~3月行事予定について
 8. その他意見交換
- 以上概要を報告(小川専務理事)

◇平成29年3月29日(水) 12:00~13:30

第7回議題

【協議事項】

1. 平成29年度(上期)役員会等主要行事の日程変更について
2. 協会第51回定時総会付議事項について
3. 電設協道支部第61回付議事項について
4. 協会第51回、電設協第61回定時総会準備スケジュール(案)
5. 会員への定時総会開催案内(案)について

6. 定時総会後の懇親会のご来賓及びご臨席のお願い(案)について
(以下省略)

【報告事項】

1. 任期満了に伴う役員選任の対応について(中間報告)
2. 北海道電業協会功績表彰者の推薦について
3. 第7回社会保険未加入対策推進北海道地方協議会の開催結果報告
4. 平成28年度 災害時協力協定連絡会議の開催結果報告
5. 電気・空衛連絡協議会の開催結果報告
6. 札幌市都市局との意見交換会開催結果報告
(以下省略)

|| 三 役 会

◇平成29年1月10日(火) 12:00~13:30

第10回議題

1. 会費規程第2条に基づく等級格付けの見直し及び平成29年度の会費収入額の算定について
2. 役員改選に係る候補者選任について(意向確認結果の報告)
3. 建設産業ふれあい展への対応について
4. 北海道設備設計事務所協会 平成29年新年交歓会への出席について
5. 平成28年度 技術講習会の開催について
6. 平成28年度 電設業関連4団体懇談会の開催について
7. 登録電気工事基幹技能者認定専門委員会の概要報告
8. 平成29年1月~2月行事予定について
9. その他意見交換

◇平成29年2月14日(火) 14:00~15:50

第11回議題

1. 平成29年度 役員会等主要行事の日程変更について
2. 平成28年度 電設業関連 4 団体懇談会の運営について
3. 札幌市都市局との意見交換会等について
4. 平成28年度 第 2 回運営協議会（地区代表者会議）の開催について
5. 役員改選に係る候補者選任について
6. 平成28年度 下期本・支部事務連絡会議の概要報告
7. 第 7 回社会保険未加入対策推進北海道地方協議会の開催について
8. 平成28年度 災害時協力協定連絡会議の開催について
9. 北海道空調衛生工事業協会定時総会後の懇親会出席について
10. 札幌弱電設備業協同組合通常総会後の意見交換会への出席について
11. 平成29年電気記念日表彰式典のご案内について
12. 平成29年 2 月～ 3 月行事予定について
13. その他意見交換

◇平成29年 3 月 7 日(火) 12:00～13:30

第12回議題

1. 平成29年度 役員会等主要行事の日程変更について
2. 定時総会開催準備スケジュールについて
3. 平成29年度 収支予算（案）について
4. 平成28年度 電業協会功績表彰者について
5. 定款の一部改正について
6. 会費規程運用細則の一部改正について
7. 旅費規程の一部改正について
8. 顧問委嘱規程の一部改正について
9. 顧問会の開催案内について
10. 50周年記念誌編纂に係る基本的な考え方について
11. 当協会ホームページのリニューアルについて
12. 電気・空衛連絡協議会と札幌市都市局との意見交換会の開催について

13. 北海道建築士会の定時総会後の懇親会への出席について
14. 北海道建築士事務所協会定時総会後の意見交換会への出席について
16. 建設業等における構造改善推進懇談会の開催について
17. 平成29年 3 月～ 4 月行事予定について
18. その他意見交換

総務委員会

◇平成29年 3 月 9 日(木) 12:00～13:20

第 4 回議題

1. 定時総会までの協会主要業務スケジュールについて
2. 総務委員会 平成28年度 事業実施報告
3. 総会議案書に掲載する平成28年度 会務報告・事業報告（案）
4. 総会議案書に掲載する平成29年度 総務委員会事業計画（案）
5. 平成29年度 収支予算（案）について
6. 平成28年度 電業協会功績表彰者の選考及び推薦について
7. 定款の一部改正について
8. 会費規程運用細則の一部改正について
9. 旅費規程の一部改正について
10. 顧問委嘱規程の一部改正について
11. その他意見交換

経営委員会

◇平成29年 3 月 22 日(水) 12:00～13:00

第 5 回議題

1. 第 4 回議事録の承認について
2. 平成28年度 電設業関連 4 団体懇談会について
3. 電設協 第271回政策委員会の開催概要について
4. 「建設産業ふれあい展」参加報告について
5. 平成28年度 経営委員会事業活動状況について

6. 平成29年度 経営委員会事業実施計画（案）
について
7. その他意見交換
4. その他意見交換

|| 広報委員会

◇平成29年3月14日(火) 15:00~17:30

第4回議題

1. 平成28年度 事業実施状況について
2. 平成29年度 事業実施計画について
3. 会報「夏号」の編集方針（案）
4. 会報「春号」の校正
5. 50周年記念誌編纂委員会（第2回）
6. その他意見交換

|| 技術安全委員会

◇平成29年3月24日(金) 12:00~13:00

第4回議題

1. 実施報告
 - ①平成28年度 技術講習会の開催結果について
 - ②安全パトロールの実施結果について
2. 平成28年度 事業実施報告について
3. 平成29年度 事業実施計画（案）について
4. 各講習会のお知らせ
 - ①平成29年度「技術安全基礎教育講習会」(新人研修)
 - ②平成29年度 電気工事施工管理技士受験準備講習会（1級学科・実施）
 - ③平成29年度 登録電気工事基幹技能者認定講習会
5. その他意見交換

|| 厚生委員会

◇平成29年3月17日(金) 16:00~17:30

第2回議題

1. 平成28年度 各部会行事实施報告について
2. 平成29年度 部会実施計画（案）について
3. 平成29年度 予算（案）について

事務局日誌

- 1月5日(木)・電気関係3団体賀詞交歓会
大房会長他(札幌グランドホテル)
- 6日(金)・官庁新年あいさつ
- 10日(火)・第10回三役会議
- 12日(木)・本部電設協賀詞交歓会
(東京)大房支部長他
- 14日(土)・建設産業ふれあい展
~15日(日) (地下歩行空間)
- 24日(火)・第6回理事会・常議員会
・札幌商工会議所表彰式他
(札幌パークホテル)宇野専務
- 25日(水)・北海道設備設計事務所協会新年交礼会
(ポールスター札幌)山口副会長
・CO₂削減ポテンシャル診断説明会
(かでる2・7)
- 26日(木)・本部常任理事会
(本部会議室)大房支部長
- 31日(火)・社会保険未加入対策推進北海道地方協議会
(札幌第一合同庁舎)宇野専務
・H28年度北海道赤レンガ建築表彰式
(赤レンガ庁舎)宇野専務
- 2月2日(木)・電設協本部・支部事務連絡会議
(本部会議室)宇野事務局長
- 3日(金)・技術講習会
(北海道電気会館)類家事務局長
- 14日(火)・第11回三役会議
・電設業関連4団体懇談会
(北2条クラブ)大房会長他
- 16日(木)・建設専門業の経営革新支援研修会
(札幌第一ホテル)
- 21日(火)・広報委員会(記念誌編纂)
・北海道空調衛生工事業協会定時総会
(ホテルさっぽろ芸文館)大房会長
- 24日(金)・歌唱部会(ちゃ茶)
- 27日(月)・社会保険未加入対策推進北海道地方協議会
(札幌第一合同庁舎)宇野専務
- 3月3日(金)・札幌弱電設備業協同組合通常総会後
の意見交換会
(ホテルラフイト札幌)山口副会長
- 6日(月)・災害時協力協定連絡会議
(札幌市役所)宇野専務他
- 7日(火)・第12回三役会議
- 9日(木)・第6回総務委員会
・第5回ゴルフ部会
- 13日(月)・安全パトロール(札幌市立中央中学校)
- 14日(火)・本部第271回政策委員会
(本部会議室)笠島経営副委員長
・第4回広報委員会
- 16日(木)・本部第339回運営委員会
(本部会議室)大房支部長
- 17日(金)・第2回厚生委員会
- 22日(水)・第5回経営委員会
- 23日(木)・本部理事会
(ホテルグランドパレス)大房支部長
- 24日(金)・第4回技術安全委員会
(北2条クラブ)
・電気記念日表彰祝賀会
(札幌グランドホテル)宇野専務
- 29日(水)・第7回理事会・常議委員会
・第2回運営協議会

編集後記

本号は、経済産業省 北海道産業保安監督部長の伊藤 正義様から、「パワースポットのご紹介」を巻頭言に頂戴しました。大変興味深いお話で、一気に読ませていただきました。お忙しい中、ありがとうございます。是非、札幌鉦霊神社にお参りにまいりたいと思っております。

この原稿を書いています時、ちょうど2017冬季アジア札幌大会の開催中です。私も、開会式を見に行きました。皇太子殿下の開会宣言、秋元市長他のご挨拶、入場行進、そしてその日の昼に女子スノーボード大回転で金メダルを獲得した家根谷 依里選手の表彰式、聖火リレー、ドリカムのミニライブ他のアトラクション等々。楽しませていただきました。本大会は全体で32の国・地域が参加し、参加選手数は1972年の札幌オリンピックを上回る規模だそうです。是非成功裏に大会が終了し、2026年のオリンピック・パラリンピックの招致に向けて弾みがついて欲しいものです。

今日現在は、まだまだ寒い日が続いておりますが、本春号が皆様のお手元に届くころは、春の息吹を感じられる頃かと思えます。みなさまも活発に動ける時期になります。お仕事に、レジャーに活躍されることを祈念しております。

広報委員長 萩本 哲夫



発行 平成29年4月
一般社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区北1条東3丁目1-1
北電興業ビル4階
TEL (011)271-2932
FAX (011)271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp